



学校だより

令和2年11月30日
練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章
第692号

全てを前向きにとらえ児童の成長に結び付ける北西の教師、保護者、地域

校長 吉川 文章

「一年を振り返って」という言葉が例年とは意味合いがずいぶん違うように感じます。その言葉では語り尽くせないほどの多くの対応を思い浮かべるからです。師走を迎え、一つ一つの対応を振り返り、その全てに対して様々な思いが去来します。思いが駆け巡ります。コロナ禍における臨時休業による授業の遅れ、不安による心身の不調、制限された中での教育活動から生じる様々なストレス等。心配は尽きませんでした。教育界が未だ相對したことの無い対応の連続でした。

11月7日に学校評議員の集まりがありました。本来は、授業をご覧いただき学校評価についてご意見を頂戴することが例年の流れですが、今回は学校評価については先送りして「コロナ禍における学校の前向き（ポジティブ）な取り組み」を中心に、校長、副校長、教務主任、生活指導主任、それぞれの立場からお伝えし意見を頂戴しました。

「休業中の状況把握の電話対応は数多くの心配や不安の声、質問がありましたが、保護者と誠実に向き合う姿勢を育てる成長の機会にとらえる教職員に頭が下がりました」「全てを我が子同然と思う専科チームが学習物配布や再開後の円滑な学校生活のスタートに大きな貢献をしてくれました」「感染防止のためのゴミ箱のふたやパーティションなどの作成作業を自主的に行うことで組織の団結が強まりました」「いじめのアンケートに、コロナに関わるからかいや噂をさせないための項目を新たに加え、いじめ防止の取り組みがさらに進みました」「ホームページに学びに向かう力（メタ認知）を高める授業実践を具体的に掲載し発信力を高める機会となりました」「コロナ禍を、むしろ人と人との絆を深める絶好のチャンスと考え、児童会の活動に結び付けていこうと考えています」上記はほんの一例です。評議員の皆様からは、そんなポジティブな思いに対して、大きく頷いてくださると共に共感や励ましのお言葉を多くいただきました。

コロナ禍における教育予算措置による恩恵もポジティブにとらえています。スクールサポートスタッフ、学習指導サポーターの人的配置やティーチングアシスタント（学習支援ボランティア）も他校に比して多くのスタッフが充実に至っています。7月にはZOOMのシステムが導入されました。区内で朝会や集会を「ZOOM」で行うことが当たり前になることを一体だれが予想したでしょうか。今年度中には、全ての児童に対して「iPad」が配布される予定です。これからは、インフルエンザ等による休業中には、学校から毎日の「朝の会」に児童が全員参加し、先生からの授業を家庭で受ける風景が日常になります。国全体でもポジティブな動きがあります。9月には、今後の日本の教育活動を「持続可能」にしていくためには、「30人学級」を推進していくことが必要と「教育再生実行本部」が文部科学省に対して働きかけ文部科学大臣からも前向きな発言があったとの報道がされました。

「リモートワークが定着して家族とのコミュニケーションが深まった」等、ご家庭での働き方もポジティブな変化が現れたというお声も耳にします。大変ありがたいことです。

「科学の発展は、感染症との戦いの歴史でもある」「人類が感染症と共存することにより進化をとげた」との言葉を耳にします。まさにポジティブな考えであり、一連のコロナ対応でその考えを体現してくれている北西の教職員を誇りに思います。令和3年も、全てを前向きにとらえ児童の成長に結び付ける北西の教師、保護者、地域をめざして連携をしていきましょう。

宿題だけしていても本当の学力はつかない

教務主幹 渡邊 慎一

今年度も4～6年生は終業式前の数日間、冬の診断テスト期間を迎えます。「入学してからテスト日までに学習した国算社理英の全内容がテスト範囲」「一つ4点×25問のテストを、一科目15～20分程で実施する」「採点は自己採点をする」「目標得点と結果の得点を比較して今後の家庭学習のしかたを児童と保護者が相談する」というものです。500点満点で、今現在の総合的な学力がわかってきます。十分な準備をして臨んでほしいと思います。

このテストによって、既に学習が終わった内容についても家庭学習において復習を行う動機が生まれます。例えば3年理科「太陽の動き」や4年社会「都道府県の名前と位置」などは、その学年でしか習わないため、復習しなければ数年後には忘れてしまいますが、これらは一生使う知識です。

この場を借りて一つ、ご確認いただければと思うことがあります。それは「宿題だけをしても本当の学力はつかない」ということです。一般的な宿題は、現在学習している内容を対象にすることがほとんどです。そのため、もし前年度までの内容に不安があるのであれば「出されている宿題＋自分に必要な学習」を毎日行わなければなりません。

正確に言うとまだ不十分です。「出されている宿題」というものも、「おそらく大多数の子にとって有益である」という判断のもとに選定された内容ですし、分量も平均的なものです。もし「今日の宿題は足し算のドリル10問」という宿題が出たとして、足し算が苦手だった子には有益ですが、計算は得意で漢字が苦手だった子はあまり学習効果を得ることはできません。3問解けば習得する子も、本当は30問必要だった子も一律10問ですので、個人に合った内容とは言い難いのです。

以上のことから、宿題は「それさえやっていれば大丈夫」というものではなく「こういう内容が足りていない人が一般的には多いのだけれど、これくらいの量で試しにどうですか？」といったお試しのものだと認識するとよいのではないのでしょうか。スーパーの試食コーナーのようなものです。

宿題に加えて何をすべきかを考え実行する家庭学習を毎日継続することで、「あと自分には『どんな内容が』『どれくらい必要なのか』」といった「先を見通して思考し、分析する力」がどんどんついていきます。それが、今後子供たちが社会に出て仕事を始めた時に問われる「本当の学力」なのではないのでしょうか。

北西まつりを伝える会

第6学年担任 箕浦 秀一

毎年秋には「北西祭り」が行われます。各学級がお店を開き、全校児童が交代でお店番をします。また、お客として他学級のお店を巡り楽しみます。

今回のコロナ禍で未実施の行事の1つに、この「北西まつり」があります。そこで、6年生担任から提案がありました。6年生と1年生で「北西まつり」をやろうという企画です。題して「北西まつりを伝える会」です。未経験の1年生に北西まつりを経験してもらい、北西の伝統を伝えようというものです。6年生にはリーダーシップを経験してもらい、最高学年としての責任感や満足感を感じて欲しいとの願いがありました。

6年生は、「1年生を楽しませる」そして「コロナ感染症防止対策を行う」という観点から自分たちで企画書を作成し、グループに分かれて準備をしました。

「わくわくすごろく」「しゃてきの森」「ハロウィンめいろ」「だっしゅつゲーム」「新〇〇といえぱ」「ハロウィンストラックアウト」「どろぼうゲーム」などが出店しました。

1年生は前日から「お店屋さんはまだかなあ。」と楽しみにしていたそうです。6年生は1年生との触れ合いに「思ったより大変だった。やんちゃだった。」「もっと1年生を楽しませることができたのではないかな」等々、さまざまな感想をもちました。

特別支援教育コーナー

～特別支援教育－障害者差別解消法と合理的配慮～

特別支援教育コーディネーター 齊藤 代一

たとえ話です。

ある海で暮らす人間がいました。
人間は短い時間なら海にもぐれますが、長い時間は無理でした。

人魚が人間に酸素ポンベをつけてくれました。

少し不便ではありますが、
人間は海の仲間と幸せな時間を過ごせるようになりました。
それだけの話です。

しかし、
このような魚類の声が人間を傷つけるのです。
「エラ呼吸してって何度言えばできるの？いつになったらできるの？」
「酸素ポンベなんてエコヒイキ！みんながんばってるのに。しつけされないで甘やかされたんでしょ？」
「クジラさんだって肺呼吸なのに長時間もぐられてますけどー？努力が足りないだけ」
「海から出ていったほうが幸せなんじゃない？」

皆さんは、人魚の行為をどう思いますか？魚類の声には賛同しますか？

日本には障害者差別解消法という法律があります。そのなかでそれぞれの障害の程度に合わせた適切な支援を「合理的配慮」と呼び、それを私たちは「しなくてはならない」と定められているのです

人魚の行為はまさに合理的配慮でした。しかし、その合理的配慮をあざ笑う魚たち。人魚なのか。それとも魚なのか。私たちの言動が問われています。

12月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
		1	2	3	4	5	
		学		学	学		
		移動教室代替行事 (6)	ALT	クリーン運動予備 日(5,6年) *雨天の場合は翌日 に変更	委員会④		
		5 5 6 6 6 6	5 5 6 6 6 6	5 6 6 6 6 6	5 5 5 5 5 5		
6	7	朝	8	9	10	11	12
	ALT		避難訓練	ALT	クラブ⑤	土曜授業⑩ (第4学年のみ道徳 授業, 体育発表会公 開) 4時間授業 11:55授業終了 個人面談①	
	4 5 5 6 6 6	5 5 6 6 6 6	5 5 6 6 6 6	5 6 6 6 6 6	5 5 5 5 5 5	4 4 4 4 4 4	
13	14	朝	15	16	17	18	19
	個人面談② ALT	避難訓練 個人面談③ 5時間授業	校内研究授業(低) (1年3組のみ5時間 授業他は4時間授 業) 給食あり		4時間授業 個人面談④		
	4 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 4 4 4 4 4	5 6 6 6 6 6	4 4 4 4 4 4		
20	21	音	22	23	24	25	26
	4, 5, 6年診断テスト 始 6年2組研究授業 (短縮などは無し) ALT		ALT	4, 5, 6年診断テスト 終 ALT 給食終了	2学期終業式 短縮時程		
	4 5 5 6 6 6	4 5 6 6 6 6	5 5 6 6 6 6	4 6 6 6 6 6	4 4 4 4 4 4		
27	28	29	30	31	1	2	
	冬季休業開始 学校休務日	閉庁日	閉庁日	閉庁日	閉庁日	閉庁日	

毎年、練馬区小中学校連合書初め展・連合図工展が行われていましたが、今年度はコロナ感染症予防の観点から、各校からの代表作品を一同に集め会場に展示することは中止といたします。ただし、各校で代表作品を選出し、校内展示等の方法で代替をいたします。

〈スクールカウンセラー 来校予定〉

12月3日(木) 10日(木) 17日(木) 24日(木)

※詳細は副校長にお問い合わせください。TEL 3932-7234